【資料１】

2025 年 1 月 31 日
於：自治労本部＆ウェブ開催

2025 年度競合単組対策意見交換交流会
議案・資料集

目　次

日　程	1
本部提起　競合単組対策の考え方	2
分科会	7
＜参考資料＞	9
旧全官公自治労連　全労連・自治労連　全労連・医労連等の組織実態	

全日本自治団体労働組合

日　程

13：30	開会	司会　郷　　孝幸	強化拡大局長
13：30～13：35	本部あいさつ	木村ひとみ	副委員長
13：35～13：55	全体会議		
	本部提起		
	競合単組対策の考え方	比田井　修	強化拡大局長
13：55～14：05	移動・ブレイクアウトルーム準備		
14：05～16：00	分科会		
16：00	閉会		

本部提起

2025.1.31　競合単組対策意見交換交流会

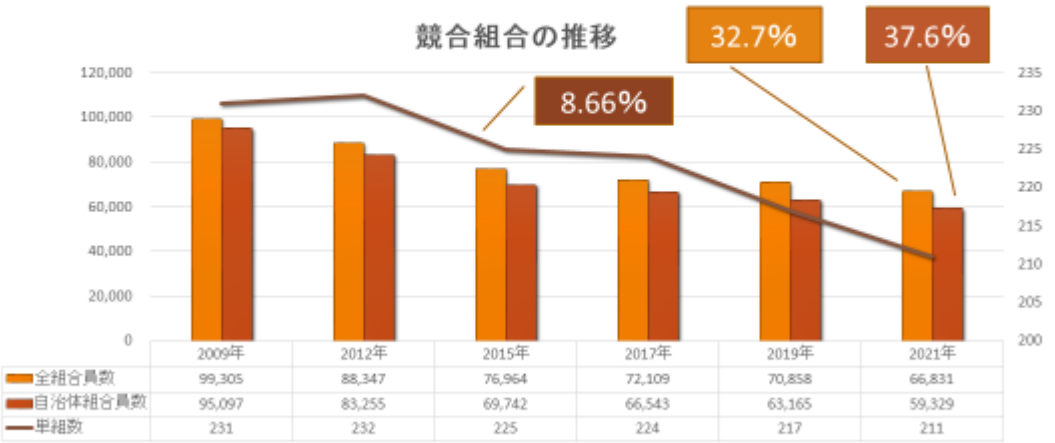
競合単組対策の考え方

自治労総合組織局　比田井　修

自治労組織内参議院議員
岸　まきこ

組織内討議資料

競合単組数の現状



	2009年	2012年	2015年	2017年	2019年	2021年
全組合員数	99,305	88,347	76,964	72,109	70,858	66,831
自治体組合員数	95,097	83,255	69,742	66,543	63,165	59,329
単組数	231	232	225	224	217	211

自治労方針・基本的な考え方

■. 自治労方針

・ 組織拡大は基本的な方針であり、同じ職場で働く労働者はすべて自治労に加入する

■. 何を目標とするのか

同じ職場で働く全労働者の自治労加入

↑

競合する別単組より高い組織率

↑

現状の組合員数を減らさない

取り組み準備

■. 単組の組織状況を正確に把握する

① 全職員数は何人いるのか（管理職・会計年度任用職員等を含む）、部署ごとに把握

② 自単組の組合員数（組織率）とその配属部署・・・どこに、何人いるのか、誰がいるのか

③ 別単組の組合員数（組織率）とその配属部署

④ 未加入の職員数とその配属部署

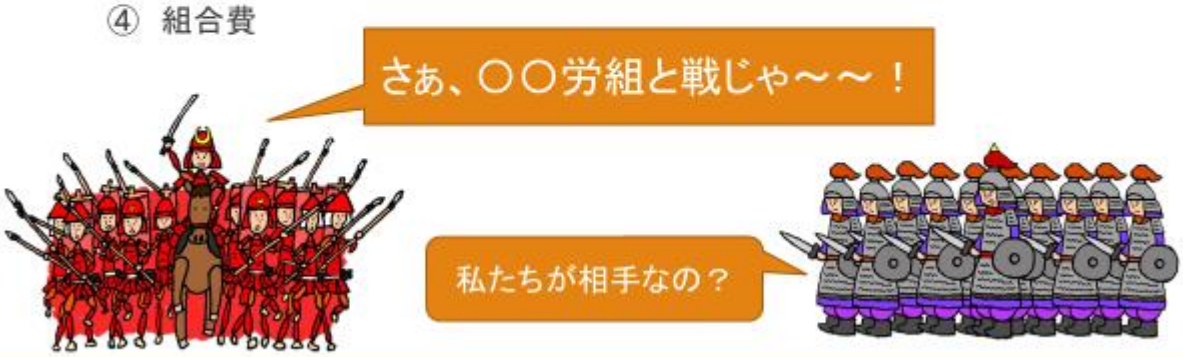
■. 単組活動を把握する

① 自単組の活動（年間スケジュールなど）を確認し、組合員が関わる活動を把握する。

② 別単組の活動状況を確認する

■. 別単組との違いを把握する

① 運動方針
② 執行部体制
③ 福利厚生・・・共済制度、親睦（レク等）
④ 組合費



問題は非組合員を放置すること

■. 競合単組と張り合うことばかりではない
■. 共存することが必要な場合も
■. 共同要求書の提出などに取り組む事例も
■. ただ、馴れ合いは×
■. 競合単組同士でのやり取り（対立）は、冷ややかに見られている
■. 労働組合に入っていない人を少なくすることが大事
■. 別単組がある場合は、「違い」が大事になる

「違い」を見つける

自動車を買いたい

① スタイル…セダン、SUV、ワゴン
② 用途…通勤、レジャーなど
③ 走行性能
④ 価格
⑤ 安全性能
⑥ メーカー

労働組合

① 執行体制や組織率
② 何のために入るのか
③ 活動状況
④ 組合費
⑤ 誠実度
⑥ 自治労…それとも〇〇

何を「売り」とするのか

やるべきことは

■. やるべきは

① **自単組の活動をいかに活性化させるのか**
　底上げチェックシートを活用し自単組の状況を確認
　自信と誇りを持った活動をする

② **誠実な取り組みを心がける**
　組合員の声を聞いているのか
　組合員に活動を報告しているか
　組合員に身近な存在であるか

最後に

競合単組での取り組みは、相手との比較は大事です。一方、**普段の取り組み**がどれだけできているのかが大きなカギとなります。

組合員との**コミュニケーション**はしっかりとれているのか、**声**を聞いているのかなど、組合員を大切にする取り組みが基本。また、組合員のみならず、非組合員や別単組の組合員とも交流する場を設けることも、状況によっては必要なことかもしれません。

課題解決にむけ、単組全体で一生懸命取り組みそれらを組合員と共有する。これを繰り返すことで信頼を得られます。どんな良い商品でも信頼性（安全性など）がなければ理解は得られません。

これらを前提として事例等を共有し、単組でアレンジしていくことで対応策の強化が図られます。

ご静聴ありがとうございました。ともに頑張りましょう！

分　科　会

１．討論の進め方

進行は本部役員が行います。討論の進め方は、単組からの参加者は事前に報告いただいた実態共有アンケートに基づき、

①競合単組との差別化

・自治労単組（自単組）の活動の内容・特徴、相手単組の活動の内容・特徴

・自治労単組に加入することのメリット、相手単組に加入することのデメリット

②新採組織化の悩み

・真っ向から新規採用者の取り合いをしているか、いわゆる棲み分けをしているか

・取り合いの場合、どのような新規採用者対策をとっているか

・棲み分けの場合、相手とどのような協議を行っているか。その際、自単組が有利になるような配分の変更を持ちかけられるか

③未加入者対策

・未加入者へのアプローチは行っているか、行っている場合はどのような内容か

・相手単組は未加入者へどのような対応を取っているか

④組合員への情報発信

・どのような媒体を使って組合員に情報発信しているか、ＳＮＳの活用はあるか

・相手単組はどのような方法で情報発信しているか

・未加入者に対して情報発信を行っているか、行っている場合はその方法

⑤その他

・本部への要望等

などのテーマに沿って意見交換してください。

分科会報告や全体まとめは行わないため、終了時間（16 時）になったら分科会ごとに終了してください。

記録は書記・オルグが行い、討論で交わされた主な意見をまとめたものを後日発信します。

２．担当者

分科会①　こちらが多数組合

役員　　外山強化拡大局長

記録　　松村書記

分科会②　勢力が拮抗している

役員　　比田井強化拡大局長

記録　　槌田オルグ

分科会③　こちらが少数組合

役員　　郷強化拡大局長

記録　　多田書記

分科会④　非組合員が大多数

役員　　石井総合組織局長

記録　　八幡書記

＜参考資料＞

旧全官公自治労連　全労連・自治労連　全労連・医労連等の組織実態

全国自治団体労働組合連合（旧全官公自治労連）2,541 人

旧全官公自治労連は、連合発足前に存在していたナショナルセンター「同盟」に加盟する組織でしたが、現在は連合に加盟しています。なお、全官公という組織は公務労協が発足した 2003 年 10 月に解散しており、全労連自治労連と区別するため、便宜的に旧全官公自治労連とよんでいます。

自治労との競合関係は、ともに連合に加盟しているため、大きな路線的な対立状況にありませんが、組織対抗上、新規採用職員における組織化が課題となっています。青森県、東京都、千葉県、山口県、長崎県、宮崎県、熊本県、沖縄県などの一部の拠点市で組織を維持しています。

また、地域によっては、労使関係や首長選挙の対応で対立してきた経緯もあり、中央・単組レベルともに組織統合を進めることは容易でない状況です。

全国労働組合総連合（全労連）・日本自治体労働組合総連合（自治労連）11.5 万人

全労連・自治労連は、連合結成の際、共産党を支持する執行部が運営する県本部・単組を率いて、1989 年に自治労から分裂した組織です。「政党支持の自由」としていますが、各種選挙では、共産党公認・推薦候補を支援するなど、随所に共産党の影響を強く受けています。

自治労分裂当時は約 26 万人の組合員でしたが、現在は 11.5 万人まで縮小しています。また、自治労連単組の全く存在しない地域に、個人加盟を中心とした「自治体一般労組」を設け、全県に自治労連組織が存在するとしていますが、実際の地方組織は 27 県程度に止まっています。

競合状況を抱える単組の情報では、新規採用者や未加入者の加入拡大にむけ、力強さは見られないこと、自治労との対抗上、組合費を引き下げ、動員も配置しない、「楽で安い」組合活動をＰＲしていることなど、担い手の高齢化や後継者不足により、存在が希薄になりつつあるとの報告もあります。

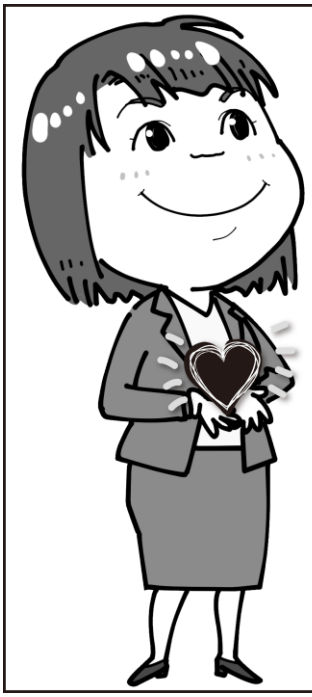
全国労働組合総連合（全労連）・日本医療労働組合連合会（医労連）14.2 万人

現在の公立病院を取り巻く状況は、地域医療構想が議論されるとともに、「公立病院経営強化プラン」が策定され、公立病院の再編統合等の計画が各地で浮上しています。

これにより、国立・公立・公的・民間病院を含めた統廃合が進められ、全労連傘下の医労連、自治労連に加盟する組合が存在する病院との統合で競合問題が発生しています。今後も、新たに競合問題が発生する可能性があり警戒が必要となっています。

全国労働組合総連合（全労連）・全日本建設交運一般労働組合（建交労）1.7 万人

全労連・建交労は、1999 年に建設一般（旧全日自労）、運輸一般、全動労が合同して結成されました。愛知県（蒲郡競艇労働組合、全競労常滑競艇労働組合）など、一部の公営競技職場に競合組織として建交労傘下の組合があります。



立憲民主党 参議院議員

岸 まきこ

とともに

自治労の政策要求を実現しよう！

自治労は、
第27回参議院選挙の全国比例区に「岸まきこ」現参議院議員の擁立を決定しました。

岸 まきこ（岸 真紀子）プロフィール

1976年北海道岩見沢市（旧栗沢町）生まれ、94年旧栗沢町役場入職（現岩見沢市）。2013年から自治労中央執行委員。19年第25回参院選（全国比例区）で初当選。現職に至る。

岸まきこ　公式サイト
kishimakiko.com/
岸 まきこ 検索